

## 第99回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成18年2月3日(金) 13:30～16:00

場所：JR東海品川ビルA棟 中会議室1

出席者：委員長 小豆澤(神戸大)

副委員長 北野(JR東海)

委員 岩松(鉄道総研), 海老原(東横女短大), 大崎(東京大), 荻田(JST),  
村本(東洋電機), 増澤(茨城大, 代理福長), 矢野(産総研)

幹事 水野(信州大), 村井(JR東海)

幹事補佐 真田(大阪府立大), 鳥居(武蔵工業大)

オブザーバ 森下(東芝, 代理長谷川)

## 提出資料

- 99-1 第98回リニアドライブ技術委員会議事録案(鳥居幹事補佐)
- 99-2 リニアドライブ技術委員会名簿(鳥居幹事補佐)
- 99-3 第80回産業応用部門研究調査運営委員会報告(小豆澤委員長)
- 99-4 リニアドライブ研究会 in 伊勢(鳥居幹事補佐)
- 99-5 交通・電気鉄道/リニアドライブ合同研究会 会告予告(北野副委員長)
- 99-6 第18回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム(SEAD18)準備状況(小豆澤委員長)
- 99-7 平成18年電気学会産業応用部門大会オーガナイズドセッション提案用紙(矢野委員)
- 99-8 平成18年電気学会産業応用部門大会シンポジウム提案用紙(鳥居幹事補佐)
- 99-9 1<sup>st</sup> International Symposium on Next-Generation Actuators Leading Breakthroughs(矢野委員)
- 99-10 平成18年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧(鳥居幹事補佐)
- 99-11 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール(案)(真田幹事補佐)
- 99-12 リニアドライブ技術委員会の構成(小豆澤委員長)
- 99-13 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会解散報告書(案)(村井幹事)
- 99-14 次世代アクチュエータの調査専門委員会設置趣意書(案)(真田幹事補佐)
- 99-15 磁気支持応用における電気・機械融合技術調査専門委員会設置趣意書(案)(森下氏)
- 99-16 平成18年度電気学会東京支部連合研究会開催御協力のお願い(小豆澤委員長)
- 99-17 多自由度モータとその要素技術調査専門委員会(MDD)活動報告(矢野委員)
- 99-18 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会(ECD)活動報告(増澤委員)
- 99-19 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会(MEL)活動報告(鳥居幹事補佐)
- 99-20 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会(MLV)活動報告(村井幹事)
- 99-21 第4回医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会議事録(増澤委員)
- 99-22 第6回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録(鳥居幹事補佐)
- 99-23 第12回多自由度モータとその要素技術調査専門委員会議事録(矢野委員)

## 議事

議事に先立ち、平成17年電気学会優秀論文発表賞の本部表彰分の授賞が行われた。部門表彰分については部門大会で授賞される。

## 1 議事録確認(後日)

資料99-1を用いて議事録の確認を行い、承認された。

## 2. 報告事項

- 2.1 資料99-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。
- 2.2 資料99-3を用いて、小豆澤委員長より、第80回D部門研究調査運営委の報告があった。共催研究会の著作権の扱いについての連絡があり、関連しそうな場合は早めに学会本部に相談すること、設置趣意書の「内外の趨勢」記述部分を改善する方向で検討すること、技術報告書の売れ残りについての報告のまとめがあり、特にタイトルが適切でなかったものは問題であるとの指摘があったこと、調査専門委員会の解散5件、設置7件が承認され、MDD委は問題なく承認されたことが報告された。また、LD技委のH18年度活動計画3次案が承認され、H17年度活動報告に対しては、未発行技術報告の早期発行の要請があった。部門誌への論文投稿を促す件について議論があり、研究会の優秀発表を推薦する方策などが検討された。LDIA特集号については、査読への推薦をつけたりはしていない。関連して大崎委員より、設置趣意書の「内外の趨勢」の記述は、「背景」及び「内外機

関における調査動向」となりそうであるとの報告があった。

- 2.3 資料 99-4 を用いて、鳥居幹事補佐より、7/6,7 に実施予定の LD 研究会についての紹介があった。伊勢で開催の予定で、4/10 締め切りのところ、現状 9 件の申込である。関連して、村井幹事より、100 回記念技術委員会の企画案についての説明があった。7/6 午後に LD 技委、研究会（記念講演含む）、懇親会を行い、7/7 午前に研究会、午後 MEL 委という基本線で検討することとした。小豆澤委員長が研究会投稿として記念講演「リニアドライブ技術の歩み」を 7/6 午後研究会の最後に発表する。その後長めの総合討論を設けると良いとの指摘があり、将来性を期待させる夢のある討論への期待が表明された。
- 2.4 資料 99-5 を用いて、北野副委員長より、7 月実施予定の交通・電気鉄道／リニアドライブ合同研究会の紹介があった。札幌で開催され、デュアルモードビークルの見学会が併催される。積極的な参加の依頼があった。
- 2.5 資料 99-6 を用いて、小豆澤委員長より、5 月に神戸で開催される電磁力シンポの準備状況についての報告があった。論文は全て提出され、プログラムも決定した。
- 2.6 資料 99-7,8 を用いて、小豆澤委員長より、H18 年産業応用部門大会に、LD 技委関連でシンポジウムとオーガナイズドセッションを提案した旨の報告があった。
- 2.7 資料 99-9 を用いて、矢野委員より、科研費アクチュエータの国際シンポジウム、展示会、モータ技術シンポのセッションが開催されることの紹介があった。
- 2.8 資料 99-10 を用いて、平成 17・18 年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。
  - (1) LD 技委：7/7 の開催予定を 7/6 に修正。
  - (2) 関連会合に 3/15-17 電気学会全国大会(富山)を追加。
- 2.9 資料 99-11 を用いて、資料提出スケジュールについての確認が行われた。MLV, MEL, ECD 委関連部分の修正を行った。

### 3. 審議事項

- 3.1 資料 99-13 を用いて、村井幹事より、磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会の解散報告書案が朗読され、審議された。収支は 0 & 0 でも問題ないはずであるとの指摘があり、修正することとした。成果報告の発表に関して、「輸送応用機器」という分類はわかりにくい、3(3)の題目は副題であるべきである、等の指摘があった。設置趣意書との対応がとれていないとの指摘があり、発表しやすい構成にしているとの回答があった。該当箇所を修正し、次回再度審議することとした。
- 3.2 資料 99-15 を用いて、長谷川氏より、磁気支持応用における電気・機械システム融合技術調査専門委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。委員会名称の「融合」の意味があいまいであるとの指摘があり、連成のほうが良いが過去に使われているとの回答があった。調査検討項目と予想される効果がうまくつながっていない、人数は合計 20 名とする必要がある、新メンバーを増やすべきである、活動予定に幹事会等も追加した方がいい等の意見があった。修正し、次回再度審議することとした。
- 3.3 資料 99-14 を用いて、真田幹事補佐より、次世代アクチュエータの調査専門委員会の設置趣意書案が朗読され、審議された。「次世代」なのだから、目的の最初の部分から解析に関する部分を削るべきで、むしろ、過去のリニアドライブ全体の動向を背景として考えるべきだ、との指摘があった。委員会名称の「の」は必要ないのではないか、特定領域研究と同じ「次世代アクチュエータ」という言葉を使うより、むしろ「新しい」などの別な言葉を使ったほうが、異なる方向性と見られて良いのではないか、「リニア」「電磁」に限定する必要はないので、「電気・磁気」はどうか、等の意見があった。修正し、次回再度審議することとした。
- 3.4 資料 99-12 を用いて、小豆澤委員長より、技術委員会メンバーについての説明があった。安川電機から新委員参加の申し出があり、4/1 に遡って適用すること、引原委員は本人の申し出により退任、牧委員は退職のため退任することが承認された。さらに、神鋼電機に新委員を推薦すること、他にも候補を絞って委員推薦を依頼することが承認された。
- 3.5 資料 99-16 を用いて、小豆澤委員長より、東京支部連合研究会に LD 技委から参加する件について、今年度は不参加としたとの報告があった。日程が支部に決められてしまうのでやりにくいとの意見があり、来年度以降はまた検討することとした。

### 4 各調査専門委員会活動報告

資料 99-17～99-23 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上